

■ 意見交換の内容

【出席者】

むつみ輸送（株）	及川社長
（株）グランツ	江種社長
築館運輸（株）	三浦社長
J A 全農みやぎ	阿部副本部長
全農物流（株）東北支社	藤井支社長
宮城県トラック協会	今川常務
宮城運輸支局	石村支局長
宮城労働局	竹内局長



【意見交換の様子】

【概要】 ☆は質問者

- ☆ 竹内局長： 働き方改革を始めたきっかけを教えてください。
- 阿部副本部長： 運転手不足や時間外労働の上限規制です。全農グループはホワイト物流推進運動に賛同して物流の改善に取り組んでいます。
- 及川社長： 運転手不足です。
- 江種社長： いわゆる 2024 年問題です。
- 三浦社長： 時間外労働の上限規制です。
- ☆ 石村支局長： 運転手不足をきっかけとして働き方改革に取り組んだということですが、取り組みの効果はありましたか。
- 運転手確保は業界の課題です。各社の対策があれば教えてください。
- 及川社長： 仕事は楽になったはずですが、今のところ、応募者の増加にはつながっていません。トラック運転手は大変だとかというような悪いイメージがあるのかもしれない。
- 江種社長： 全農グループの取組を他の荷主にも紹介して、同様の改善をお願いしています。
- 三浦社長： 求職者に安心感を持ってもらえるようホームページでのPRなどに努めています。
- ☆ 竹内局長： 取組の課題となったことやその解決方法を教えてください。
- 阿部副本部長： パレットを使うことで倉庫内での保管効率が低下しますが、荷役作業の負担軽減や作業効率向上によるメリットの方が大きいと思っています。
- 江種社長： 荷下ろし先からのフレコンバックやパレットの回収といった問題は、

全農グループがレンタルパレットを導入したことや規格を統一したことによって解消しています。

運送業者にとってのデメリットはありません。

☆ 竹内局長： 今後の方針や解決しなければならない課題があれば教えてください。

阿部副本部長： 今後もフレコンバックの使用は拡大していくと思いますが、小規模農家では使うことができませんので、どうしても紙袋は残ってしまいます。また、一般の農家にはフォークリフトがありませんので、そうした農家からの出荷は手作業になってしまいます。

モーダルシフトについては、一定量の荷があることが前提で、また、トラック輸送に比べると日数が余計かかるなどのデメリットはありますが、全体としてはメリットが大きいことから今後も関係者に協力いただきながら進めていくことにしています。

藤井支社長： 当社は「農業物流のトップランナーとなること」を経営理念に掲げています。生産者から消費者への架け橋となります。運転手の労働環境の改善を進めます。物流改善は永遠に続きますし、待ったなしだと思っています。

及川社長： 全農グループ以外の荷主のところでは今も荷待ち時間が生じています。全農の取組をどんどんPRして、他の荷主にも取組が広がることを期待しています。

今川常務： 2024年問題は、運送事業者と荷主とが協力して乗り越えていただきたいと思っています。

我々は、一般消費者にも物流問題を理解していただけるよう、運輸局や労働局にも協力いただいて、テレビやインターネット、新聞などを通した周知にも取り組んでいます。

竹内局長： 皆様の取組がトラック運転手の皆さんの作業負担の軽減に非常に有効であることが良く分かりました。

労働局でもこうした取組を紹介して、求職者の皆さんにもきちんとお伝えしていかなければならないと思いました。

皆様方には、時間外労働の削減をはじめとして、働く方々の労働条件を維持、改善しながら事業を運営していただくようお願いいたします。

本日はありがとうございました。